

第26期（2024年3月期） 第2四半期決算のご説明

2023年11月9日



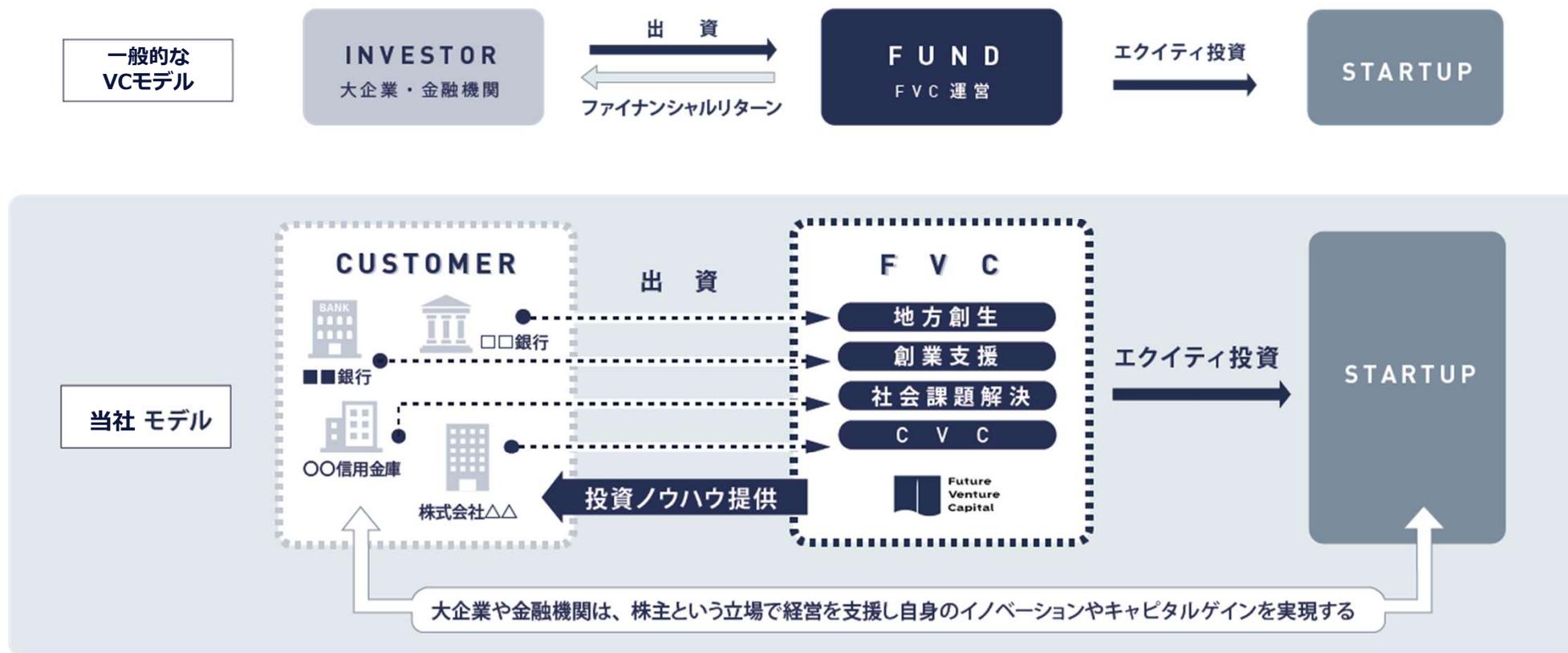
1. 事業内容	・ ・ ・ ・ P.03
2. 決算説明	・ ・ ・ ・ P.09
3. トピックス	・ ・ ・ ・ P.16

事業内容

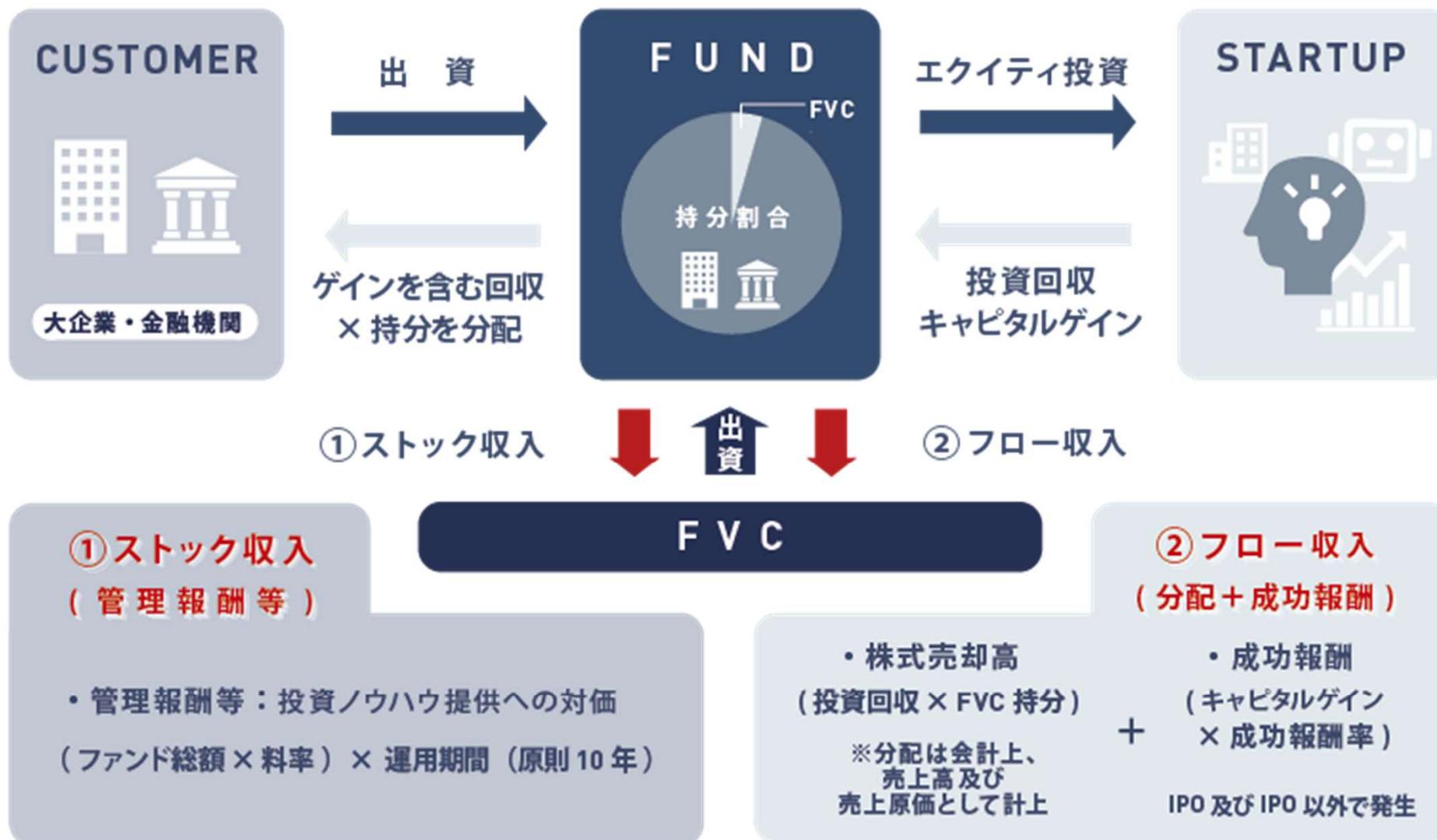


Future Venture Capital

エクイティ投資によるファイナンシャルリターンをのみ追求から、投資ノウハウを広く提供し、利用者から継続的な収益を得るモデルへ数年かけて転換。



FVCはファンド運営機能の提供者として唯一のポジションを確立し、エクイティ投資に係る様々なノウハウを定額で提供することで長期安定収益体制を構築し、カスタマーの中長期の事業戦略をサポートすることが可能となった。



約50本のファンド

地方創生ファンド

- 出資者である地域金融機関の営業エリアに限定し地域活性化に資するファンド
- 案件発掘からハンズオン支援そして出口戦略まで、FVCと地域金融機関が二人三脚で協調

CVCファンド

- 中堅事業法人を主な対象とし、事業シナジーと投資リターンの両立を目指す
- FVCならではの全国的案件フローを活かした、事業会社ではアクセスできないベンチャーへの接点が強み

少額ファンドを多数運営する**人的負荷が課題**

拡張性確保のための施策

地方公共団体との連携による**地方創生
ファンド規模の拡大**

ファンド組成からモニタリング、出口戦略までを**標準化**

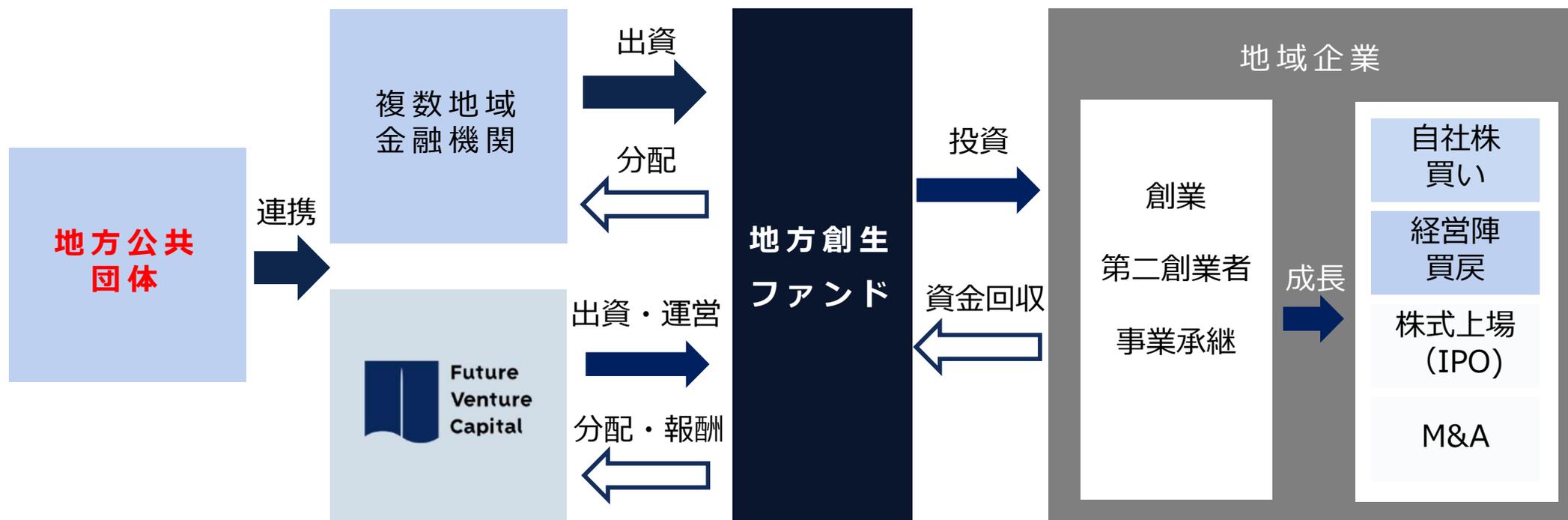
投資担当者が担っていた**事務処理業務**をミドル・バックオフィスへ集約

IT投資により、ファンド運営を支える**ミドル・バックオフィス業務の効率化**

投資担当者の活動余力を確保し、**投資先のソーシング及びモニタリングの強化**

地方創生ファンド強化 地方公共団体・地域金融機関との連携拡大

地方創生ファンドを、**地方公共団体と連携**することにより、**複数の地域金融機関**を出資者として**ファンド規模の拡大**を行い、より多くの地域企業にリスクマネー（エクイティ等）を供給していくことで、創業・第二創業・事業承継を後押しし、地域経済活性化への取り組み。



地方の事業多角化を目指す中核企業をターゲットに CVCファンドの組成強化

地域金融機関のネットワークを活用した**優良な地方企業へのCVCファンド営業**



地方創生ファンドで培った地域金融機関ネットワークを活用し、取引先企業への新規事業開発ソリューションの一環としてCVCファンド組成と活用を共同提案



大手コンサル会社やシンクタンク向けにFVCのCVCファンドを周知し、クライアント企業への新規事業開発ソリューションの一環としてCVCファンド組成と活用を共同提案



CVCファンド組成検討企業向けセミナーを開催し、見込み先発掘とアプローチを図る

決算説明



Future Venture Capital

① **親会社株主に帰属する第2四半期純利益は、1,122百万円 前年同期比 約4倍**

株式会社デジアラホールディングスの株式譲渡による特別利益1,714百万を計上したことにより増加。

② **売上高は、243百万円 前年同期比 △16%**

当社が運営するファンドからの管理報酬の減少およびコワーキング施設の運営終了等による影響。

③ **経常利益は、7百万円 前年同期比 △93%**

2023年6月13日付 定時株主総会対応費用による販売費及び一般管理費の増加、および本年4月株式会社デジアラホールディングスの株式譲渡に伴う投資利益の減少が影響。

2.2.決算概要 (PL)

単位：百万円	第25期2Q (2022/4~2022/9)	第26期2Q (2023/4~2023/9)	対前期比
売上高	287	243	△44
営業利益	16	△45	△61
経常利益	103	7	△96
四半期純利益	301	1,121	+820
親会社株主に帰属する 四半期純利益	301	1,122	+821

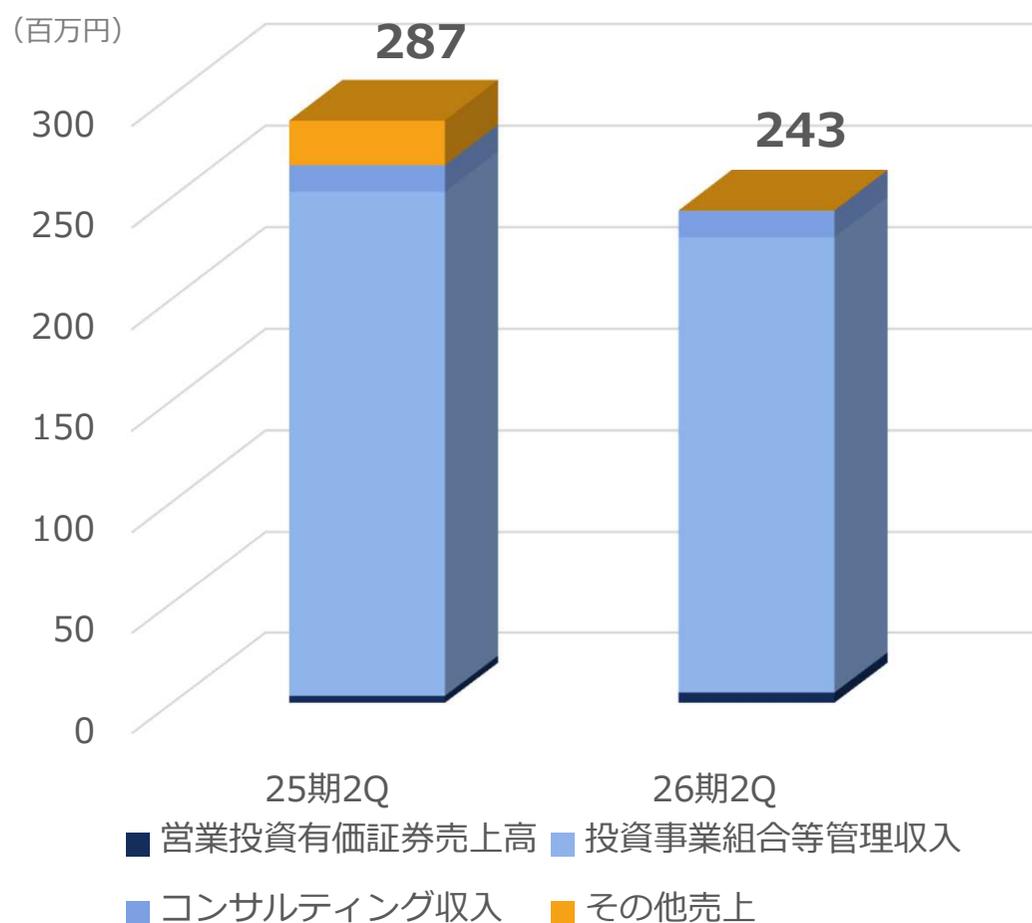
2.3.決算概要 (BS)

単位：百万円	第25期4Q (2023/3末)	第26期2Q (2023/9末)	対前期比※
流動資産	2,843	4,838	+1,994
うち 現金及び預金	2,651	4,685	+2,034
うち 営業投資有価証券	143	144	+0
うち 投資損失引当金	△18	△24	△5
固定資産	1,210	64	△1,146
資産合計	4,054	4,903	+848
流動負債	330	156	△173
固定負債	41	40	△0
負債合計	371	197	△174
株主資本	3,676	4,698	+1,022
非支配株主持分	2	1	△0
純資産	3,682	4,705	+1,022
自己資本比率	90.7	95.9	+5.2

2.4.決算概要 (CF)

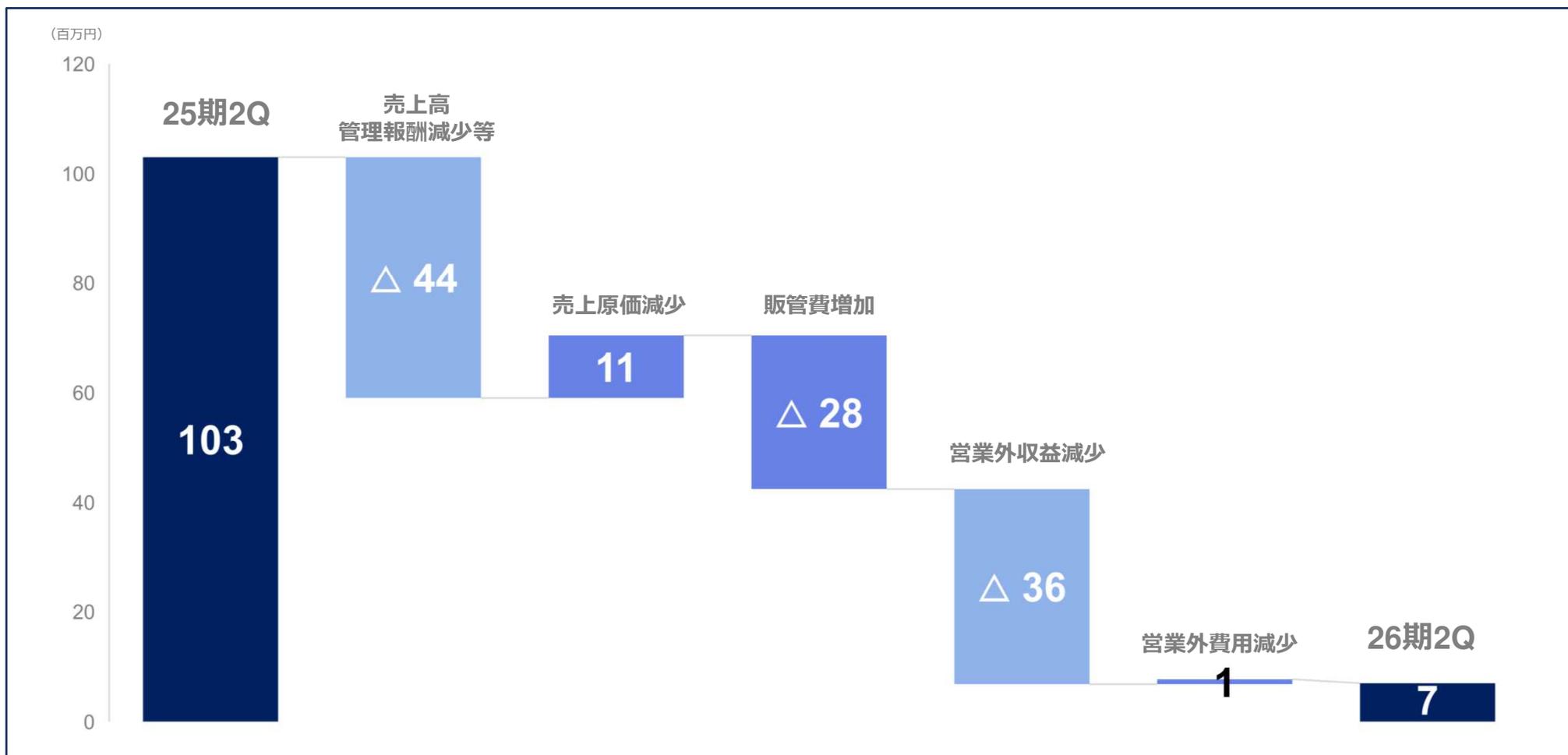
単位：百万円	第25期 2 Q (2022/4~2022/9)	第26期 2 Q (2023/4~2023/9)	対前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	21	△111	△89
投資活動による キャッシュ・フロー	399	2,245	+1,847
財務活動による キャッシュ・フロー	3	△99	△103
現金及び現金同等物の 期末残高	2,482	4,685	+2,651

管理報酬 当社が運営するファンドからの管理報酬が対前期比で23百万円減少
その他売上 コワーキング施設の運営終了により、その他売上22百万円減少



2.4.経常損益の増減分析（前年同期比）

売上高 運営ファンドの管理報酬減少及びコワーキング施設の運営終了等により44百万円減少
販管費 定時株主総会対応費用等により28百万円の増加
営業外収益 本年4月に株式会社デジアラホールディングスの株式譲渡に伴う投資利益の減少等が影響。



トピックス



Future Venture Capital

東京証券取引所グロース市場への新規上場承認 (上場日2023年10月26日)

笑美面(えみめん)は、「高齢者が笑顔で居る未来を堅守する」をビジョンに掲げ、介護家族にとって「ホーム介護の利用が『ポジティブかつ当たり前』になっている状態」をつくり出すことで、「家族が心の介護に向き合い、高齢者が笑顔で居る社会」の実現を目指すインパクトスタートアップ企業です。

適切な情報の入手が困難なために、シニアホーム入居を諦めたりしている介護家族に対し、コーディネーターによる対面相談で、最適なホーム入居を支援する「シニアホーム紹介サービス」を提供。またシニアホーム紹介サービスで得たネットワークを活かし、介護家族が安心できる、質の高いサービスを提供するシニアホームを増やす「シニアホーム運営コンサルティング」についても展開しています。

<ファンド名>

おおさか社会課題解決投資事業有限責任組合

<投資先企業概要>



会社名	株式会社笑美面 (えみめん)
本社所在地	大阪府大阪市西区京町堀1-8-33京町堀スクエア4階
事業内容	シニアライフサポート事業 ・シニアホーム紹介サービス (入居検討者向け支援) ケアプライム事業 ・シニアホーム運営コンサルティング (シニアホーム運営事業者と関連企業向けビジネス)

免責事項

本資料は、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（以下「FVC」）及びその子会社（FVC Tohoku株式会社を含み、以下FVCと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時において入手した情報等に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。こうした記述は将来の業績予想を保証するものではなく、将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際とは異なる可能性があることにご留意ください。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のある其他要因については、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照下さい。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券並びにファンド持分（又は同等の有限責任持分）への投資勧誘を目的とするものではありません。本資料に係る一切の権利は、他資料等の引用部分を除き当社グループに属し、いかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製は難くお断りします。本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。



Future Venture Capital